

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

| 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日) | 総合評価(月 日実施) | |
|-------------------|---|---|---|--|------|----------|------------------|-------------|-------|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 1 教育課程 学習指導 | ①定時制生徒の多様なニーズに応えるカリキュラムマネジメントを進める。 ②基礎学力の定着と主体的で深い学びを実現するため、ICT機器の利活用を含めた組織的な授業改善に取り組む。 | ①単元の指導と評価の計画等、常に指導計画の改善を図り、生徒の多様なニーズに応える授業計画を立案し、実現する。 ②授業改善を通して、生徒の学びを深めるとともに、生徒の特性を考慮したユニバーサルデザイン化された授業を展開する。 | ①各教科で作成する単元の指導と評価の計画は評価と指導の一体化を意識しつつ、学びに向かう態度を重視して作成し、授業を行う。 ②ICT機器を効果的に用いるなど全ての生徒が分かりやすく取り組みやすい授業を行い、生徒の学びを深める。 | ①年間指導計画及び単元の指導と評価の計画において、評価と指導の一体化を意識して、学びに向かう態度を重視して作成されているか。 ②研修等でICT教材が効果的に用いられた授業例を共有し、授業改善につなげることができたか。ICT教材が使用しやすい教室整備を進めたか。 | ① | ① | | | |
| 2 生徒指導・支援 | ①他者を尊重し、良好な人間関係を築き、社会で生き抜くために必要な力を身につけられる支援を行う。 ②SC、SSWの活用や外部機関との連携を図り、一人ひとりの生徒に応じた相談体制・支援体制の充実を図る。 ③生徒の主体的・積極的な活動の支援体制を確立する。 | ①生徒一人ひとりの抱える課題・課題の解決を支援しながら人間的成長を後押しする。 ②多様化、複雑化する課題を抱える生徒に対して、情報把握とその共有を行い、組織的で機動的な生徒支援体制を構築する。 ③学校行事や委員会活動等、生徒の関心・意欲を高め、主体的に運営・参加できる機会を増やす。 | ①生徒の変化や問題の早期発見ができるように、声掛けやコミュニケーション、個別面談の機会を多く持ち、助言、助力していく。 ②課題を抱える生徒に対して、担任、養護教諭、SC、SSW等と協働して支援体制を強化する。 ③学校行事への主体的な参加を促し、達成感を味わわせるよう支援を行う。部活動では技術指導のみでなく意欲的な活動を引き出し、社会性と積極性を育む指導を心掛ける。 | ①声掛けやコミュニケーションの機会を多くもつことができたか。機会をとらえた個別面談を行うことができたか。 ②生徒情報交換会等を通して課題を抱える生徒状況の把握ができたか。個々の課題に対して適切に支援体制を整えることができたか。課題の解決・対応につなげることができたか。 ③行事の満足度は高かったか。充実した部活動が展開されたか。 | | | | | |

| 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日) | 総合評価(月 日実施) | |
|-------------------|--|---|---|--|------|----------|------------------|-------------|-------|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 3 進路指導・支援 | <p>①生徒の幅広い進路希望やニーズに応じた支援体制の確立を図る。</p> <p>②生徒が主体的でたくましく社会を生き抜くことができる力を育成する。</p> | <p>①多種多様な生徒の進路ニーズをよりの確に把握するとともに、組織的に支援できる体制を構築する。</p> <p>②インターンシップ等を活用し、職業観を育てるとともに生徒が自ら進路選択ができるように支援を行う。</p> | <p>①生徒とのより深い対話を担任に働きかけ多様なニーズの把握に努めるとともに、SCCとの協働を進め外部資源も活用し、より適切な進路実現を目指す。</p> <p>②段階的なキャリア教育のプログラムを実践するとともにキャリアパスポート等を活用し、生徒の進路に対する意識の熟成を図り、将来を見据えた主体的な行動に導く。</p> | <p>①担任への働きかけは適切にできたか。SCCとの協働や外部資源の活用を進められたか。</p> <p>②キャリアパスポート等の活用はできたか。</p> | | | | | |
| 4 地域等との協働 | <p>①学校の情報発信を積極的に行い、地域との連携を深める。</p> <p>②ボランティア活動等への参加を通して、地域との連携を深める。</p> | <p>①学校運営協議会等を活用し、地域や保護者と連携・協働した活動を通して、CSとして信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②情報発信を早めにするなどボランティア活動への参加を通じた地域との連携を進める。</p> | <p>①学校ホームページやICTを活用し、保護者会や学校運営協議会との連携を深めるとともに学校説明会やホームページの充実を図り情報発信を行う。</p> <p>②ボランティアガイダンスやセミナーからの効果的な情報発信や地域との連絡体制を密にする。</p> | <p>①活動に制限があることを前提に保護者会や学校運営協議会を課題を明確にして開催できたか。また充実したホームページの更新ができたか。</p> <p>②ボランティア参加が増加したか。また、地域との連携を進めることができたか。</p> | | | | | |
| 5 学校管理 学校運営 | <p>①生徒を第一に考え、指導方針を共有し、生徒・保護者のニーズに応える学校づくりを行う。</p> <p>②一人で業務や悩みを抱え込むことなく、健康で明るい職場環境を構築する。</p> | <p>①生徒による授業評価等を活用し、生徒・保護者の状況を分析し、教職員で共有する。</p> <p>②働き方改革を念頭に置き、適切な職務管理を行うとともに職員一人ひとりが共有、協働の意識が心がける環境を構築する。</p> | <p>①生徒による授業評価等を活用し、授業改善やコミュニティ・スクールなどに関する校内研修会を開催する。</p> <p>②信頼される学校にするために、職員のコンプライアンスの意識の醸成を行い、絶対に事故不祥事をおこなさない学校にする。</p> | <p>①生徒による授業評価等を活用した授業改善やコミュニティ・スクールなどに関する研修会を開催できたか。</p> <p>②適切な不祥事防止会議を実施できたか。職務管理ができたか。職員一人ひとりが協働の意識を高める環境を構築できたか。</p> | | | | | |